

THE HARD

DICTIONARY

AYAYO'S ENCYCLOPEDIA

Hard Soft / ProjectRepadars / BEEP



Soapland Story(1986) / Soapland Story II(1991) / Kadokí-kata Oshiemasu(1986) / Kudokí-kata Oshiemasu II kind Gal' s(1987) /
Bishoujo Shashin-kan Studio Cut(1987) / Bishoujo Shashin-kan II Mooving School(1987) / Bishoujo Shashin-kan III Kyouku no Yakata(1988) /
Bishoujo Shashin-kan Bangai-hen Outside Story(1990) / Double Vision Bishoujo Shashin-kan Special(1987) /
HARD-sha no Svachou ga Shaín si Omoshiroi to Mitomesasete Quiz Dai-Ichi-Dan, Kimi mo Narita ni Itte Kette ni Janken wo shiyou(1988) /
Quiz Zatsugaku Olympic Watanabe Wataru-Hen(1988) / HARD Graphics Sou-Shu-Hen(1988) / Sematte mitai(1988) / Torilogy Kuki Avakashiden(1989) /
Bishoujo Control(1989) / Water Front Adventure(1989) / Belloncho Shintai-Kensa Joshi Koukou-hen(1990) /
Sukeban Sengokushi Pymec School War(1991) / Cobra Mission: Park in Cobra City (1991) / HARD Special Selection Katamari(1994) /
Yokoso Cinema House he(1994) / Yoshinaga Savuri ga Yattekuru Yahi Yahi Yahi(1995) / Hacchake Ayayo-san(1989) /
Hacchake Ayayo-san2 Ibanai Holiday(1990) / Hacchake Ayayo-san3 Watashi Icchattan-desu(1991) / Hacchake Ayayo-san4 Sexy Ohnoki(1993) /
Hacchake Ayayo-san5 Píkapika-no-Shouwa-kasei(1994) / Hacchake Ayayo-san123(1993) / Hacchake Ayayo-san123 for Windows(1999) /

SAMPLE PAGE



02 リフトカタログ

『ソープランドストーリー』、『ソープランドストーリーII - Memory -』、『口説き方教えます』、『口説き方教えます PART II カインドゥギャルズ』、『美少女写真スタジオ・カット』、『美少女写真館II ムービング・スクール』、『美少女写真館III 恐怖の館』、『美少女写真館 番外編 アウトサイド・ストーリー』、『ダブル・ヴィジョン 美少女写真館スペシャル!』、『HARD社の社長が社員に面白いと認めさせたクイズ第一弾、君も成田へ行って勝手にジャンケンをしよう』、『クイズ競争オリンピック わたなべわたる編』、『HARDグラフィックス総集編』、『せまってみよう』、『トリロジー—九鬼妖事真伝—』、『美少女コントロール』、『ウォーターフロントアドベンチャー』、『ペロンチョ身体検査—女子高生編—』、『スケバン戦国史—PSYMEC SCHOOL WAR—』、『Cobra Mission: Panic in Cobra City』、『はっちゃけあやよさん』、『はっちゃけあやよさん2いけないホリデー』、『はっちゃけあやよさん3私、逝っちゃったんです』、『はっちゃけあやよさん4セクシーオリンピック』、『はっちゃけあやよさん5ピカピカの小惑星』、『はっちゃけあやよさん123』、『はっちゃけあやよさん123 For Windows』、『ハードスペシャルセレクション—塊—』、『ようこそシネマハウスへ』、『古来サユリがやって来る ヤァ!ヤァ!ヤァ!』

28 HARD スペシャルコンテンツ

長岡流ドット絵講座、ディスクシステム版 開発秘話、PC88 アニメーション マシン講座 (プログラム編・ステップ編)、はっちゃけあやよさん PC88 版開発資料

40 スタッフインタビュー

長岡流、さっぼろももこ、DON-MASTER、玉手峰人
Tea Break Time...あやよV開発データ、本編未収録画像、広告&リーフレット紹介、田所広成氏特別コメント、Guest 出演のあやよさん紹介
松菜さゆき、かみさん、轟秀男、アンミラかっせー、柿上幸村社長

86 あやよの歴史

89 柿上社長インタビュー

98 『あやよさん 1-5Renovation』取扱説明

CONTENTS



はっちゃん HARD な

ソフトカタログ

INDEX

- 1986 ソープランドストーリー
- 1991 ソープランドストーリーII - Memory -
- 1986 口説き方教えます
- 1987 口説き方教えます PART II カインドウギャルズ
- 1987 美少女写真館 スタジオ・カット
- 1987 美少女写真館II ムービング・スクール
- 1988 美少女写真館III 恐怖の館
- 1990 美少女写真館 番外編 アウトサイド・ストーリー
- 1987 ダブル・ヴィジョン 美少女写真館スペシャル!
- 1988 HARD 社の社長が社員に面白いと認めさせたクイズ第一弾、君も成田へ行って勝手にジャンケンをしよう
- 1988 クイズ雑学オリンピック わたなべわたる編
- 1988 HARD グラフィックス総集編
- 1989 せまってみたい
- 1989 トリロジー - 九鬼妖華真伝 -
- 1989 美少女コントロール
- 1989 ウォーターフロントアドベンチャー
- 1990 ベロンチョ身体検査 - 女子高校編 -
- 1991 スケバン戦国史 - PSYMEC SCHOOL WAR -
- 1991 Cobra Mission: Panic in Cobra City
- 1989 はっちゃんあやよさん
- 1990 はっちゃんあやよさん2 いけないホリデー
- 1991 はっちゃんあやよさん3 私、逝っちゃったんです
- 1993 はっちゃんあやよさん4 セクシーオリンピック
- 1994 はっちゃんあやよさん5 ピカピカの小惑星
- 1993 はっちゃんあやよさん 123
- 1999 はっちゃんあやよさん 123 For Windows
- 1994 ハードスペシャルセレクション - 魂 -
- 1994 ようこそシネマハウスへ
- 1995 吉永ザユリがやって来る ヤァ!ヤァ!ヤァ!



はっちゃんあやよさん

発売：1989年
 対応機種：PC-8801mkIISR以降 / PC-9801VM以降 /
 MSX2以降 / X68000

記念すべき看板タイトルの第一弾！

HARD 社看板キャラクターあやよさんの登場である、極限まで少ないボリュームながらも未だに話題に事欠かない作品で今回の復刻の中心だ。

ゲーム内容は付属ディスクで遊べるので遊んでいただければすぐにわかるが、とにかくボリュームが少なくゲーム性は0だ。これが当時売れて、以降続編が5まで作られ看板タイトルになる。

スタッフロールでは社長インタビューにも登場している、16歳で HARD に関わり始め、この頃なんと18歳の‘少年’氏がアートディレクター、プログラム担当を行っている点にも着目したい。なお、各機種によって大人の事情により、絵が色々異なる。遊ぶなら本作を苦勞してグラフィックス、パッケージ等一人で作りあげた松柴さんの入魂の PC-8801 版で遊んでいただきたい。X68 版はらいち氏の三角形の塗り残しの逸話の苦勞作。

HARD 社の看板絵師‘尊辺 友’氏がトータルディレクターを行っている。



▲ 原画が無い為、PC88 をそのまま流用する形で塗り直したという X68 版。らいち氏18歳の苦心作。
 ちなみに左上のタイトル画像 (PC-98 版) はさっぼろももこ嬢によるもの。トラックボールを使用した。髪の毛の色については・・・？



▲ 初期のあやよさんは‘おとなしい少女’という設定だった。スカートめくりのシーンはあまりにも有名。

HARD社の社長が社員に面白いと認めさせたクイズ第一弾、君も成田へ行って勝手にジャンケンをしよう



HARD社の社長が社員に面白いと認めさせたクイズ第一弾、君も成田へ行って勝手にジャンケンをしよう



HARD社の社員が社長に楽しいと驚かれたクイズ第二弾、君はガムのドロコに入れるか
改め 雑学オリンピック わたなべ わたる編

発売：2作品ともに1988年
対応機種：PC-8801 / PC-9801 / X1 / MSX2 / ファミリーコンピュータ ディスクシステム

当時の人気TV番組がモチーフ。
有名作家を起用したクイズゲーム

いわゆる「勝手に成ジャン」。クイズに答えていき、正解する事によりパネルがめくれ、裏表グラフィックスが現れていくというサンプルなもの。パート2である雑学オリンピックグラフィックス。当時人気成年漫画家の「わたなべ わたる」が起用。インタビューによると原画をスキャンしてドット化にあたっては「結構」苦労がかったのだが、採算は取れなかったとの事だ。

第2弾のクイズ時々、懸賞クイズの問題をそのまま答えをはがき紙書いて送るとプレゼントが抽選であたるという試みもあった。



第二弾

これは、**懸賞クイズ**ですよ〜

質問シート・ハガキに回答ください。

▲特徴的な要素の「懸賞クイズ」

こちらはファミコン版。残念ながらファミコンの描画性能ではわたなべわたる氏の絵柄はうまく再現できなかったようです。

▲わたなべわたる氏による魅力的な絵

雑学オリンピック Part II

第一弾

〈ルール説明〉

0	1	2	3
4	5	6	7
8	9	10	11
12	13	14	15

一定時間内に問題に答えて正解すると、ルーレットがまわります。その数字によって2枚のグラフィックがオープンします。するとムフアのグラフィックが...

※このソフトにはスーパーマニアグラフィックは含まれておりません...

▲説明書は付属していないので、中古で買ったときに慣れてください...

雑学オリンピック Part I

HARD社インタビュー



ある日舞い込んだ招待状は、僕らの生活大きく変えてしまった。
辺境の地パラソの小さな会社に招かれた僕は、
10人のスタッフの愉快な冒険譚を聞くため、
地図と大きな荷物を手にして目的の場所、HARD社へと急いだ。

—— インタビュー ——

- 長岡建蔵
- さっぽろももこ
- DON-MASTER
- 玉手峰人
- Tea Break Time
あやよV開発データ、本編未収録画像、広告&リーフレット紹介、
田所広成氏特別コメント、Guest 出演のあやよさん紹介
- 松柴さゆき
- かみさん
- 裏秀男
- アンミラかっきー
- 柿上幸村社長

聞き手:Projectrepadars スタッフ(S)
BEEP スタッフ(K)

SAMPLE PAGE

メイン原画 / シナリオ / ゲームデザイン

長岡建蔵

ながおか けんぞう



【参加作品】

『はっちゃんあやよさん 2-5』
『あやよさん 1-2-3』 / 小説版 / 設定資料集他
『HARD スペシャルセレクション魂』『緋化の女』

【略歴】

デザインの専門学校を経て HARD 社に入社。『はっちゃんあやよさん』シリーズ等の原画を手掛けるが、1995 年に秋葉原にて「HARD 社解散式典」と現行スタッフ解散宣言を行い HARD 社を退社。その後、ストーンヘッズの『性欲の強い看護婦』の原画を担当し、ビジュアルアーツ系のブランド「CRAFTWORK」を主宰。紆余曲折を経て『さよならを教えて』が後年になり絶大な人気を誇る。現在はデザイナーとしても活動中！

スタッフ(S) デザイナーとして活躍しつつ、艶艶や二人展等のイベントでは女性ファンやコスプレイヤーに握手をせがまれたりと大人気な長岡氏。しかし、原点を振り返ると黒マントを着用しHARD社のゲームを配り歩く等の深無しには語れない思い出が！ここは思い切って過去を徹底的に追及するべく、スタッフは深夜のファミレスに潜入した。

長岡 こんにちは、HARD時代は「はらひれはれはれ」じゃなくて「はらひれはれはら」でもなくて……えーとなんだっけ？はらはれひろはら。

S 時々、両方使ってた気もしますがそれで合ってますよー。

長岡 まあ、こういう風になタとして、使おうと思ってたけど混乱するし一回もやらなかったなあ。単に言にくい筆名でした。

S 小説版や資料集では、長岡建蔵””になっていたの、後年のファンでは「はらほれ」さんではなく長岡さんとして活動していたと思ってる方も多



▲雑誌テクノポリス誌上で休業宣言し、その後復活宣言を行った。(※1)

いみたいですね。

長岡 はらはれ名義のあやよ2の2006版の原画から参加していましたがまったく似てないので3から聞き直ったところある意味企画を私物化しました。エロゲ史上に残るさる事件(沙織さんのアレー)がきっかけで、社長がもうエロゲーム作るのは止める！とか言い出したので存続を願うメンバーで誰が責任取るかを賭けたじゃんけんをして負けたので二代目の社長(とはいえ隔われのチーママ社長)になりました。

S 今明かされる復活宣言の真相がここに！そして状況的にみんな知ってたw(※1)

長岡 単にエロゲームが作りたかっただけなので経営のことなど何も考えておらず早々に潰れました。そりゃあ潰れます。だって何も考えてないんだもん。すごい迷



▲「はっちゃけあやよさん」1〜3のタイトル画面。2から3の変化の大きさから長岡氏の聞き直りが感じられる



▲長岡氏が表紙を飾った『パソコンパラダイス vol.4号』(※2)

ど何も考えておらず早々に潰れました。そりゃあ潰れます。だって何も考えてないんだもん。すごい迷惑なヤツでした、反省してます。社長、すみませんでした！(ていうか記録してなきや昨日食った晩めしの事も覚えなのになんか覚えてねえよ…話半分だと思ってください)

家庭で当時はネットもなかったし、友達も多い訳じゃなかったもんでエロ本コミュニティーにも入れない。持って余した性を開放するために閉塞された環境でいかにエロスを楽しむかべさか。気が付くとオレは、自分でやらしいえつちな絵を描いていた。が、そんな抑圧された性を制作により解消していた家も、妹が録画予約をしていた「AKIRA」のビデオを親父が勝手に取消してエロビデオ観てたらしく、逆ギレした親父が暴れたら妹がさらにキレていつの間にか家の壁

に穴開いたり一家離散してしまった。ま、その時はもう進路が決まってるデザイン専門学校に行きやうって家を出て勝手に生きていこうかーということになってて専門学校を夜間に変更して(移動)ことに決めた。所在が(学校が)一番近いと思われるので、インターに面接に行ったら(面接)で、それじゃあ(面接)でいよいようとHAND社が行った。買えた！で、働いてみるとこれが毎日楽しくて(面白)い。さらに早々にDTPを導入して

バリバリやっていたHAND社の外部デザイナー玉手氏の事務所に入り出すようになるとアシスタントの真似事などしたり、門前の小僧よろしくデザイン制作してみたりとかなり影響を受けました。当時、デザインの現場は版下製作からDTPに移行するちよつと前、まさに黎明期だったので(今さら)カラコで綺麗な直線が引けたり写植を真っ直ぐ貼れるようになるのがなんだっつうんじゃー！)となって2週間学校に行かなくなりました。思えば課題や実技はともかく座学は受けて損は無かったのかも知れませんが後の祭りもいいところ、ていうか学費がもったいないことこの上なし。

S 18才の元専門学校生がいきなり雑誌の表紙を飾るのは物凄いインパクトでした。(※2)

SAMPLE



Hard Special Contents

INDEX

- 長岡流ドット絵講座
- ディスクシステム版 開発秘話
- PC88 アニメーション マシン語講座
(プログラム編・ステップ編)
- はっちゃんあやよさん
PC88 版開発資料

SAMPLE PAGE

かみさんの

ディスクシステム版な開発秘話

ログから自社独立する前は、別のブランドで『美少女写真集』や『ピンクでカシ』等のファミコンディスクシステムを私が担当していました。『美少女写真集』をその後のコンパニオンとして他社となってしまったため分かりませんが、当時の社の特集ではありますが、ゲーム内容を変えた形での補版も目下しましたので簡単に解説させていただきます。

簡易版のため BIOS の部分は言語（※1）をサポートせずスキーコード（※2）による読みを行っています。ディスクシステムは中間言語モリリー配置場所を計算しながら読み読み出しを行っていましたが、それは非常に手間がかかので、BIOS にアスキーコード接続み込んで、中間言語に翻るシステムがありましたので、BIOS を使って、BASIC を読み込ませました。

トもあり、またプログラムはデータと比較すれば非常に小さいものであったため、アスキーコードフロップディスクに記録、15倍の大きさに記録されても問題はなフロップディスクに十分記録来まし

それよりデータ数（主にインの枚数）が大きな問題で、圧縮のためアスキーコード数を別アスキーコードとしておりました。

もちろんディスクシステム直接の関係はありませんが、この圧縮が別担当に開発です。

プログラムもデータを含めはです。メモリ問題は大きかったです。メモリがなにも足りません。BIOS も場面場面で読み込みながら動かしていました。



HARD社立ち上げ人、初代代表取締役社長

柿上幸村氏インタビュー

聞き手 頼田林 太郎

はっちゃけあやよさんの復刻という事でようやくお会いすることができたHARD社初代社長の柿上氏。はじめてお会いするその姿は落ち着いた、勿腰の優しそうな笑顔が印象的で、ひとつひとつ丁寧に静かに、昔の思い出を話さずにはいかみながらお答えいただきました。

— HARD社での肩書とお名前をお願いします。

(柿上氏)HARD社元代表取締役の柿上幸村(かきのうえこうそん)です、本日は宜しくお願いします。

— 簡単にHARD社設立迄の略歴を教えてくださいませんか？

1951年2月生まれ、今年(インタビュー時2017年)で66歳になります。一応、台東区生まれの台東区育ち、三代続く江戸っ子。高校生の頃より浅草近辺で飲んだく

れていました。煙草もする。当時浅草は、いなどころでしたので飲んでいても文句言われた度無かったなあ。

そこそこ悪方キだったけど学校で事件を起こしたり、補習されたりして停学になったり、退学になったりする同級生をみて、なに馬鹿な事やってるんだと。大学の頃は学生運動が真つ盛りでしたが、冷めた目で見えていました。自分の場合はそれよりも、遊ぶほ

うに目が行ってました。そんな中、共にハード開発などを行うことになる吉田君と出会います。彼とは高校の同級生の紹介で会ったのが最初です。確か「ブルーム」(※1)を見にいこうと誘われて行った先が吉田君の家だったわけです。

出会ったころ吉田君は「初めてカセットテープを使ったパソコンのデータの記録に成功した。(※2)」と言っていました。実際はどうかはわかりませんが相当早かった事は間違いない、私はそれを聞いて特許を取ったらどうかと進言した

のですが、吉田君はそんな事は無意味でどうせすぐにフロッピー(のようなもの)の時代になると取り合いませんでした。まだまだ世の中にはパソコンなんて名前すら出てこないようなずつと昔です。彼は進んでる人でした。

— では柿上社長も電子工学といいますが、大学でもそんな道に進んでいた頃ですか？

いや、自分は経済学部だったので(笑)技術のほとんどは見よう見まねでほとんど習得したんですよ。今でもハンダ小手を使って簡単な修理くらいだったら出来ます。

※1 非合法のボルト映画
カセットテープをパソコンのデータを保存する媒体として使用する

※2 方式は80年代初期から中盤にかけて一般のユーザーにも浸透していった。当時柿上氏が学生とあつたことなのでまだ1970年代に入るか入らないかという頃。いかに先進的であつたかわかる。

——その吉田氏とHARD社を立ち上げていくわけですか？

いえ、当時は全く違う重宝を持っていました。吉田君と始めたのはハードウェア開発です。いろいろな物を造りましたよ。

例えば3mほどのアームに手作りの今で言うところのインクジェットプリンターを取り付けて、プリンターを手作りするだけでも大したものだったのですが、さらにスキャナーも無い時代にカメラで撮りこんだ画像を壁に張った紙に再現していくのです。巨大な物を造ってビルの壁面に壁画を描くことが目的でした。これは試作品の段階でインクの日話まりが解決できなかつたのと、アームが長いと自分の重さでアーム自体がしなってしまうなど、問題を解決できませんでした。

——独創的というか、凄いですね。

本当は吉田君を紹介してくれた友人といろいろやるつもりだったんですが、その紹介した友人はアメ

リカに留学してしまいい年も帰ってきませんでした。そこで残った吉田君とまず始めたわけですが、しかし吉田君は本当にいろいろなものを造りました。

例えば他にはPHセンサー、留守番電話、ビデオカメラ、パソコンの交換機なども作りました。僕は運転資金の用に使った機械の買い出し、他の雇いの購入、ワンボードマイコン、カメラ、プリンター、アームの入力部、主にカメラが作ったものを再現できるように再現しました。なかなか完成しないけど、何しろ夢があるから、やります。ね、特に留守番電話に、入りました。まいました。

——とどうと？

当時はまだ携帯電話がなかった。一般家庭はダイヤル式の黒電話でした。

その黒電話に簡単な装置とテープレコーダーを接続したもので、テープレコーダーといつても当時のはウォークマンとか無かった頃です。すからね、割と大きな録音機を接

続したものです。

電話がかかってくると機械が動作して受話器が持ち上がり、録音機の音声(男の野太い声)が流れてから、録音を開始するというものでした。電話がかかってくるたびに受話器を持ち上げるシーンは感動的であり、また滑稽でもあり、スタッフと思わず大笑いしていました。そしてこの留守番電話の祖先みたいな機械は色々な要望が重なり3日間で作ったのです。大変でしたけど、このころの経験が下地になって、「楽しい仕事をしよう」が僕のベースになりました。

——和製Apple II(※3)の開発秘話かのような楽しさと黎明期ながらの楽しいお話だと思えます。仕事も風流満帆にも聞こえますが、その後どうだったのでしょうか。

田君とはいろいろな機械を作り出した。結果的に最後の1押しがうまくいかず、なかなかうまく成果を得られないまま数年が経ちました。やはり金銭的に続かず悩みましたがその後、別々の道に進み

ました。しかし、この頃が一番楽しく、充実していたと今でも思いますね。話はそれますが、吉田君と人工知能について話したことがありません。彼は、今は記憶媒体が小さすぎて無理だが、いずれもの凄いIQをもったロボットができる。ロボットの時代が来るよ。そしてロボットがロボットを造り始めたときが人類の危機だね。40年も前にこんなことを言っていました。最近その現実が近づきつつあるように思えるのは僕だけでしょうか？

——吉田氏と解散をしたあとは？

暫く親父の会社で仕事を手伝いました。実はパソコンには興味がありません。無かったのですが80年台に入り急速にパソコンが普及してきました。そこで初めて買ったパソコンはNECのPC8001(※4)だったと思います。親父の会社の経理に使おうと思つて、当時ドットプリンター込みで50万円近くしたと思います。(経理のソフトはカセットテープでした(笑))。でも、まるで役に立ちませんでした。

TeaBreakTime



あやよV開発データ
本編未収録画像
広告 & リーフレット紹介
あやよファン代表特別コメント
Guest 出演のあやよさん紹介

SAMPLE PAGE